

関連臨床医学（3 年次生）

（1）内科学総論	・ ・ ・ ・ ・	162
（薬学部共修）		
（2）外科学総論	・ ・ ・ ・ ・	165
（薬学部共修）		
（3）内科学各論	内科学 1 ・ ・ ・ ・ ・	168
（薬学部共修）	内科学 3 ・ ・ ・ ・ ・	170
	血液学 ・ ・ ・ ・ ・	172
（4）外科学各論	外科学 1 ・ ・ ・ ・ ・	174
	外科学 2 ・ ・ ・ ・ ・	176
（5）隣接医学Ⅰ	皮膚科学 ・ ・ ・ ・ ・	178
（薬学部共修）	眼科学 ・ ・ ・ ・ ・	180
	耳鼻咽喉科学 ・ ・ ・ ・ ・	182
	整形外科科学 ・ ・ ・ ・ ・	184
	形成外科学 ・ ・ ・ ・ ・	186
（6）隣接医学Ⅱ	小児科学 ・ ・ ・ ・ ・	188
（薬学部共修）	産科婦人科学 ・ ・ ・ ・ ・	190
	泌尿器科学 ・ ・ ・ ・ ・	192
	精神神経科学 ・ ・ ・ ・ ・	194
	脳神経外科学 ・ ・ ・ ・ ・	196
（7）隣接医学Ⅲ	人類遺伝学 ・ ・ ・ ・ ・	198

年度 2019 学期 1・2Q	曜日・校時 木・I	必修選択 必修	単位数 1
科目番号	25084501		
科目ナンバリング・コード	DNGD33171992		
授業科目名/(英語名)	内科学総論/ (Internal Medicine)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 第1 講義室	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中尾一彦/kazuhiko@nagasaki-u.ac.jp /病院消化器内科教授室/095-819-7482(内 7482)/10:00～16:00 (実務担当:松島加代子/kmatsu@nagasaki-u.ac.jp/病院消化器内科医局/095-819-7481(内 7481))			
担当教員(オムニバス科目等)	泉川 公一、尾長谷 靖、宮崎 泰可、石本 裕士、谷口 寛和、北村 峰昭、松島 加代子、三馬 聡、小澤 栄介、橋口 慶一、福島真典		
授業の概要			
歯科医・薬剤師として必要な内科学総論(呼吸器、消化器、腎臓分野、感染症学)			
授業到達目標			
一般目標 GIO:		【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】	
歯科医・薬剤師として最低限必要な内科疾患(呼吸器疾患、消化器疾患、腎臓疾患)に関する知識を習得する。			
個別行動目標 SBOs:		【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識	
内科学および下記の各分野の病態生理・疾患を理解し概説できる。 1 呼吸器、2 消化器、3 腎・泌尿器			
授業方法(学習指導法)			
プリント、スライドを使った講義が主体。時にレントゲンフィルム、内視鏡写真を供覧する。			
授業内容			
1 回目 呼吸器内科総論・アレルギー性疾患			
2 回目 肺癌			
3 回目 呼吸器感染症			
4 回目 間質性肺疾患			
5 回目 総論、腎臓の解剖と機能			
6 回目 ウイルス性肝疾患			
7 回目 腎不全			
8 回目 腎炎、ネフローゼ症候群、尿細管間質性腎炎			
9 回目 肝硬変と肝癌			
10 回目 上部消化管疾患			
11 回目 下部消化管疾患			
12 回目 胆膵疾患			
13 回目 感染症の現状、病態の基本、診断、治療方法について			
14 回目 感染症の予防方法としての標準予防策、経路別予防策について			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書 わかりやすい内科学(第4版) 井村裕夫編集 ¥9,450(文光堂) 参考書 内科学書(改訂第8版):全6冊+別巻(中山書店)		
成績評価の方法・基準等	筆記試験にて評価する。出題範囲は基本的に講義内容と配布プリントの範囲。 レポートによる評価はない。 再試は1回行う。		
受講要件(履修条件)	なし		
備考(学生へのメッセージ)			

実務経験のある教員による授業科目	・尾長谷 靖（第 1 回目）／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な内科疾患（呼吸器疾患）について教授する。 ・千住 博明（第 2 回目）／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な内科疾患（呼吸器疾患）について教授する。 ・宮崎 泰可（第 3 回目）／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な内科疾患（呼吸器疾患）について教授する。 ・石本 裕士（第 4 回目）／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な内科疾患（呼吸器疾患）について教授する。 ・北村 峰昭（第 5・7・8 回目）／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な内科疾患（腎臓疾患）について教授する。 ・三馬 聡（第 6 回目）／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な内科疾患（消化器疾患）について教授する。 ・福島 真典（第 9 回目）／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な内科疾患（消化器疾患）について教授する。 ・松島 加代子（第 10 回目）／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な内科疾患（消化器疾患）について教授する。 ・橋口 慶一（第 11 回目）／長崎大学病院における診療業務 歯科医師に最低限必要な内科疾患（消化器疾患）について教授する。 ・小澤 栄介（第 12 回目）／長崎大学病院における診療業務 歯科医師に最低限必要な内科疾患（消化器疾患）について教授する。 ・泉川 公一（第 13・14 回目）／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な内科疾患（感染症学）について教授する。
------------------	--

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	4	木	I	呼吸器病学 呼吸器内科総論・アレルギー性疾患	尾長谷 靖	第1講義室
2回	4	11	木	I	呼吸器病学 肺癌	千住 博明	第1講義室
3回	4	18	木	I	呼吸器病学 呼吸器感染症	宮崎 泰可	第1講義室
4回	4	25	木	I	呼吸器病学 間質性肺疾患	石本 裕士	第1講義室
5回	5	9	木	I	腎臓病学 総論、腎臓の解剖と機能	北村 峰昭	第1講義室
6回	5	16	木	I	消化器病学 ウイルス性肝疾患	三馬 聡	第1講義室
7回	5	23	木	I	腎臓病学 腎不全	北村 峰昭	第1講義室
8回	5	30	木	I	腎臓病学 腎炎、ネフローゼ症候群、尿細管間質性腎炎	北村 峰昭	第1講義室
9回	6	6	木	I	消化器病学 肝硬変と肝癌	福島 真典	第1講義室
10回	6	13	木	I	消化器病学 上部消化管疾患	松島 加代子	第1講義室
11回	6	20	木	I	消化器病学 下部消化管疾患	橋口 慶一	第1講義室
12回	6	27	木	I	消化器病学 胆膵疾患	小澤 栄介	第1講義室
13回	7	11	木	I	感染症の現状、病態の基本、診断、治療方法について	泉川 公一	第1講義室
14回	7	11	木	II	感染症の予防方法としての標準予防策、経路別予防策について	泉川 公一	第1講義室

年度 2019 学期 1・2Q	曜日・校時 金・I	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25084502		
科目ナンバリング・コード	DNGD33181992		
授業科目名/(英語名)	外科学総論/(Surgery)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 第1 講義室	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 日高重和/hidaka-s@nagasaki-u.ac.jp/病院 11 階腫瘍外科/095-819-7304(内 7304)/7:00～18:00 またはメールにて			
担当教員(オムニバス科目等)	安武 亨、宮崎拓郎、日高重和、矢野 洋、土肥良一郎、富永哲郎、渡邊洋之助、野中 隆、田浦康明		
授業の概要 外科学総論としての外科診断学、腫瘍学、創傷治療、免疫学、感染学、栄養学の系統的講義を通じて、外科患者の診断、治療に対する理解を深める。			
授業到達目標 一般目標 GIO: 外科の歴史、損傷と創傷治療、炎症と感染、腫瘍、外科栄養、免疫、体液変動、老人外科、小児外科の各分野について、基本的知識を習得し、理解する。 個別行動目標 SBOs: 1. 外科学の概念を説明できる。 2. 外科治療の中心である手術などの侵襲に伴う病態への対応を説明できる。 3. 現代外科学の主な対象である外傷・腫瘍の外科および先端にある臓器移植、また、老人外科、小児外科に関する概要を説明できる。			
【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 E-6:医師と連携するために必要な医学的知識			
授業方法(学習指導法) PC プレゼンテーションによる講義が中心となる。また理解を深めるため、必要に応じてプリントの配布も行うこともある。			
授業内容 1 回目 外科の歴史と外科医の立場:(1)外科の歴史 (2)外科医と法 (3)専門医制度 (4)病歴 (5)理学的所見 2 回目 損傷と創傷治療:(1)機械的損傷 (2)非機械的損傷 (3)創傷の治療過程 (4)創傷治療を左右する因子 (5)創傷管理の実際 3 回目 外科と栄養:(1)外科における栄養管理の意義 (2)栄養アセスメント (3)経腸栄養 (4)経静脈栄養 血液凝固異常と輸血:血液製剤の種類と特徴 外科的侵襲と生体反応:(1)免疫系の反応 (2)血液凝固系の反応 (3)術後の生体反応と回復過程 4 回目 臓器移植・人工臓器:呼吸器系の移植と人工臓器 5 回目 炎症と感染:(1)炎症の概念と病態生理 (2)臨床症状と所見 (3)外科的感染症の起因菌 (4)全身感染症と敗血症 (5)外科的特殊感染症 (6)治療 6 回目 腫瘍:(1)良性腫瘍と悪性腫瘍 (2)発癌メカニズム (3)悪性腫瘍の病態 (4)臨床診断と特殊検査 (5)悪性腫瘍の治療 (6)悪性腫瘍の疫学 7 回目 体液と変動の輸液:(1)正常体液分布 (2)侵襲と体液変動 (3)水・電解質異常 (4)酸塩基平衡障害 (5)輸液療法 8 回目 外科と免疫:(1)免疫機構と調節 (2)腫瘍免疫 (3)移植免疫 (4)免疫不全と日和見感染 9 回目 老人外科・小児外科の特徴:(1)小児外科の特徴 (2)新生児・未熟児の特徴 (3)術前・術後の栄養管理 (4)老人外科の特徴 (5)手術適応 (6)周術期管理の特徴			
キーワード	外科、腫瘍学、免疫学、炎症、感染、栄養、創傷治療		
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書 標準外科学(医学書院) 必要に応じてプリントを配布することあり。		
成績評価の方法・基準等	筆記試験による評価を行う。再試は1回行う。 出席率も考慮する。		
受講要件(履修条件)	なし		
備考(学生へのメッセージ)	臨床診療において役に立つ外科的な基礎知識を習得することを目的とします。		

実務経験のある教員による授業科目	・安武 亨（第 1 回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。 ・日高 重和（第 2 回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。 ・富永 哲郎（第 3 回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。 ・宮崎 拓郎（第 4 回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。 ・渡邊 洋之助（第 5 回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。 ・野中 隆（第 6 回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。 ・矢野 洋（第 7 回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。 ・土肥 良一郎（第 8 回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。 ・田浦 康明（第 9 回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。
-------------------------	---

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	5	金	I	損傷と創傷治療 (1)機械的損傷 (2)非機械的損傷 (3)創傷の治癒過程 (4)創傷治癒を左右する因子 (5)創傷管理の実際	安武 亨	第1講義室
2回	4	12	金	I	外科の歴史と外科医の立場 問診と外科的診察法 (1)外科の歴史 (2)外科医と法 (3)専門医制度 (4)病歴 (5)理学的所見	日高重和	第1講義室
3回	4	19	金	I	外科と栄養 (1)外科における栄養管理の意義 (2)栄養アセスメント (3)経腸栄養 (4)経静脈栄養 血液凝固異常と輸血 (1)血液製剤の種類と特徴	富永哲郎	第1講義室
4回	4	26	金	I	臓器移植・人工臓器 呼吸器系の移植と人工臓器	宮崎拓郎	第1講義室
5回	5	10	金	I	炎症と感染 (1)炎症の概念と病態生理 (2)臨床症状と所見 (3)外科的感染症の起因菌 (4)全身感染症と敗血症 (5)外科的特殊感染症 (6)治療 外科的侵襲と生体反応 (1)免疫系の反応 (2)血液凝固系の反応 (3)術後の生体反応と回復過程	渡邊洋之助	第1講義室
6回	5	17	金	I	腫瘍 (1)良性腫瘍と悪性腫瘍 (2)発癌メカニズム (3)悪性腫瘍の病態 (4)臨床診断と特殊検査 (5)悪性腫瘍の治療 (6)悪性腫瘍の疫学	野中 隆	第1講義室
7回	5	24	金	I	体液の変動と輸液 (1)正常体液分布 (2)侵襲と体液変動 (3)水・電解質異常 (4)酸塩基平衡障害 (5)輸液療法	矢野 洋	第1講義室
8回	5	31	金	I	外科と免疫 (1)免疫機構と調節 (2)腫瘍免疫 (3)移植免疫 (4)免疫不全と日和見感染	土肥良一郎	第1講義室
9回	6	7	金	I	老人外科・小児外科の特徴 (1)小児外科の特徴 (2)新生児・未熟児の特徴 (3)術前・術後の栄養管理 (4)老人外科の特徴 (5)手術適応 (6)周術期管理の特徴	田浦康明	第1講義室

年度 2019 学期 3Q	曜日・校時 月・I (一部木・V)		必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084511			
科目ナンバリング・コード	DNGD33191992			
授業科目名/(英語名)	内科学各論(内科学 1)/(Internal medicine,Spesial Lecture)			
対象年次 3 年次	講義形態	講義形式	教室	第 1 講義室
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 川上 純/atsushik@nagasaki-u.ac.jp/病院 9 階第一内科教授室/095-819-7260(内 7260)/金曜 午後				
担当教員(オムニバス科目等)	一瀬邦弘、岩本直樹、堀江一郎、宮崎禎一郎、辻野 彰、鎌田昭江			
授業の概要				
内科学の基礎知識を理解することを目標とする。特に、以下のテーマに基づいて、歯科口腔症状所見との関連にも重点をおいて講義する。内科学について、代表的な疾患の理解や歯科口腔症状所見との関連に重点をおいて講義する。				
授業到達目標				
一般目標 GIO:		【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
内科学の基礎知識を理解する。将来、実際の臨床の場で役立つような知識・判断力を身に付けさせる。				
個別行動目標 SBOs:		【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識		
受講生がリウマチ性疾患、神経疾患、内分泌代謝疾患の概念を理解し、その病態を説明できるようにする。				
授業方法(学習指導法)				
講義形式にて行う。プリントの配布、スライド及び液晶プロジェクターを使用して講義する。				
授業内容				
1 回目 リウマチ性疾患の内科的基礎知識を講義し口腔内病変を理解させる-1。				
2 回目 リウマチ性疾患の内科的基礎知識を講義し口腔内病変を理解させる-2。				
3 回目 内分泌疾患の基礎と臨床について、バセドウ病などの内分泌疾患の内科的知識を講義して、歯科領域の注意点などを理解させる。				
4 回目 糖尿病の成因・治療について、糖尿病の内科的知識を講義して歯科領域の注意点などを理解させる。				
5 回目 臨床神経学概説1: 歯科領域を中心に、脳神経の解剖・生理学をとうして、神経内科学の基礎知識を講義する。				
6 回目 臨床神経学概説2: 脳血管障害で使用される抗凝固剤、抗血小板剤の知識を深く理解させる。				
キーワード	リウマチ性疾患、臨床神経学、糖尿病、内分泌疾患			
教科書・教材・参考書	なし			
成績評価の方法・基準等	定期試験時に筆記試験(講義担当者が各々試験問題を作成)を実施する。出席率、追試験、再試験は学部規則の沿って厳格に行う。			
受講要件(履修条件)	特になし			
備考(学生へのメッセージ)	将来、実際の臨床の場で役立つような内科学の基礎知識が身につくことを心がけて講義します。			
実務経験のある教員による授業科目	・岩本 直樹 (第 1 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 内科疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。 ・一瀬 邦弘 (第 2 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 内科疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。 ・堀江 一郎 (第 3 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 内科疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。 ・宮崎 禎一郎 (第 4 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 内科疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。 ・鎌田 昭江 (第 5 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 内科疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。 ・辻野 彰 (第 6 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 内科疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	9	30	月	I	リウマチ性疾患 リウマチ性疾患-1	岩本直樹	第1講義室
2回	10	7	月	I	リウマチ性疾患 リウマチ性疾患-2	一瀬邦弘	第1講義室
3回	10	21	月	I	内分泌疾患 主な内分泌疾患の診断・治療について	堀江一郎	第1講義室
4回	10	28	月	I	神経疾患 臨床神経学概説1: 歯科領域の神経解剖	宮崎禎一郎	第1講義室
5回	11	11	月	I	糖尿病 糖尿病の成因・治療について	鎌田 昭江	第1講義室
6回	11	14	木	V	神経疾患 臨床神経学概説2: 脳血管障害について	辻野 彰	第1講義室

年度 2019 学期 4Q	曜日・校時 月・I		必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084512			
科目ナンバリング・コード	DNGD33191992			
授業科目名/(英語名)	内科学各論(内科学 3)/(Internal medicine,Cardiovascular disease)			
対象年次 3 年次	講義形態	講義形式	教室	第 1 講義室
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 河野浩章/hkawano@nagasaki-u.ac.jp/循環器内科医局/095-819-7288(内 7288)/9:00～17:00				
担当教員(オムニバス科目等)	恒任 章、古賀聖士、土居寿志、河野浩章、池田聡司			
授業の概要				
歯学部学生にあつては、循環器疾患を理解し、循環器疾患を有する患者に歯科治療を行うとどのような影響があるのか、歯科診療に際して注意すべき点など、実際の歯科診療に必要な知識を学習して欲しい。薬学部にあつては、循環器疾患を理解し、治療薬として使われる薬剤の作用機序を理解し薬剤に対する理解を深めて欲しい。				
授業到達目標				
一般目標 GIO:		【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
循環器内科学の医療従事者としての一般的な知識を習得することが第一の目標となる。循環器疾患を有する患者への歯科治療や投薬治療を行う際に、歯科医師・薬剤師として知っておくべき知識、注意が必要な点、治療薬物の薬効について習得する。				
個別行動目標 SBOs:		【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識		
循環器、内科学、内科医療および加齢・老年病学の病態生理・疾患を理解し概説できる。				
授業方法(学習指導法)				
基本的には板書およびパソコンにて講義するが、話し尽くせない分はプリントを活用する。				
授業内容				
1 回目 弁膜疾患・先天性心疾患:僧帽弁狭窄・閉鎖不全症、大動脈弁狭窄・閉鎖不全症、心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、ファロー四徴症、感染性心内膜炎				
2 回目 虚血性心疾患:狭心症、心筋梗塞				
3 回目 心電図・不整脈:左室肥大、右室肥大、期外収縮、頻脈性不整脈、徐脈性不整脈、人工ペースメーカー、ICD				
4 回目 心臓の炎症性疾患・心筋症・心不全:心筋炎、肥大型心筋症、拡張型心筋症、心不全				
5 回目 高血圧・大動脈疾患・末梢動脈疾患:本態性高血圧症、肺高血圧症、大動脈瘤、大動脈解離、高安病、閉塞性動脈硬化症、Buerger 病				
キーワード				
教科書・教材・参考書		参考書 病気がみえる vol.2 循環器 医療情報科学研究所 (編集)		
成績評価の方法・基準等		筆記試験にて行う。内容は講義した内容で客観問題(五肢択一または複択形式)。60 点以上を合格とする。再試験は 1 回行う。		
受講要件(履修条件)				
備考(学生へのメッセージ)				
実務経験のある教員による授業科目		・ 恒任 章 (第 1 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 循環器疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。 ・ 古賀 聖士 (第 2 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 循環器疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。 ・ 土居 寿志 (第 3 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 循環器疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。 ・ 河野 浩章 (第 4 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 循環器疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。 ・ 池田 聡司 (第 5 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 循環器疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	11	18	月	I	弁膜疾患・先天性心疾患:僧帽弁狭窄・閉鎖不全症、 大動脈弁狭窄・閉鎖不全症、心房中隔欠損症 心室中隔欠損症、動脈管開存症、ファロー四徴症、感染性心内膜炎	恒任 章	第1講義室
2回	11	25	月	I	虚血性心疾患:狭心症、心筋梗塞	古賀聖士	第1講義室
3回	12	2	月	I	心電図・不整脈:左室肥大、右室肥大、期外収縮、頻脈性不整脈、 徐脈性不整脈、人工ペースメーカー、ICD	土居寿志	第1講義室
4回	12	9	月	I	心臓の炎症性疾患・心筋症・心不全:心筋炎、肥大型心筋症、 拡張型心筋症、心不全	河野浩章	第1講義室
5回	12	16	月	I	高血圧・大動脈疾患・末梢動脈疾患:本態性高血圧症、肺高血圧症、 大動脈瘤、大動脈解離、高安病、閉塞性動脈硬化症、Buerger病	池田聡司	第1講義室

年度 2019 学期 4Q		曜日・校時 月・ I		必修選択 必修		単位数 (1)	
科目番号		25084513					
科目ナンバリング・コード		DNGD33191992					
授業科目名/(英語名)		内科学各論(血液学)/(Internal medicine,Hematology)					
対象年次 3 年次		講義形態 講義形式		教室 第 1 講義室			
対象学生(クラス等)		歯学部・薬学部		科目分類 関連臨床医学			
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 波多智子/hatatmk@nagasaki-u.ac.jp/原爆後障害医療研究所・血液内科/直通 095-819-7111、大学病院・血液内科/直通 095-819-7380/木曜日 13:00～16:00							
担当教員(オムニバス科目等)		波多智子					
授業の概要							
1.血液の構成成分およびその機能、さらに骨髄における造血について理解する。 2.止血機構について理解する。 3.赤血球の異常、種々の白血球の異常、出血性素因について解説し、血液疾患の中心である、貧血、白血病、リンパ腫、出血性疾患の病態や治療について理解する。							
授業到達目標							
一般目標 GIO:				【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】			
1.歯科医(薬剤師)にとって診療上必要と考えられる血液学について理解する。 2.血液の構成成分とその機能について説明できる。止血機構について説明できる。 3.代表的血液疾患の病態について理解する。							
個別行動目標 SBOs:				【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識			
血液内科学分野の病態生理・疾患を理解し概説できる。							
授業方法(学習指導法)							
講義形式にて行う。プリントを配布し、スライドを用いて講義する。							
授業内容							
1 回目 造血の仕組み、血球の働き 止血凝固の仕組み 2 回目 貧血性疾患、出血性疾患 3 回目 造血器悪性腫瘍の生物学的・臨床的概念							
キーワード		造血幹細胞、貧血、白血病、悪性リンパ腫、止血凝固異常、化学療法、造血幹細胞移植					
教科書・教材・参考書		教科書 なし 参考書 1. 講義録 血液・造血器疾患学(小澤敬也ほか、メディカルレビュー社) 2. カラーテキスト血液病学(木崎 昌弘ほか、中外医学社) 3. 血液学(三輪史朗ほか、文光堂) 講義資料を LACS に掲載する。					
成績評価の方法・基準等		筆記試験による定期試験で評価する。 再試験は、提出されたレポートの評価による(1 回行う)。					
受講要件(履修条件)							
備考(学生へのメッセージ)		正常血球の種類とその機能について確認しておく、理解が深まると思われる。					
実務経験のある教員による授業科目		波多 智子／長崎大学病院における診療業務／診療上必要な血液学及び血液疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。					

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	1	6	月	I	造血のしくみ(造血幹細胞の自己複製能と各血球系への分化能) 血球の機能、止血の仕組み	波多智子	第1講義室
2回	1	20	月	I	貧血性疾患・出血傾向 病態・臨床的特徴・治療	波多智子	第1講義室
3回	1	27	月	I	造血器悪性腫瘍 白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の生物学的・臨床的概念	波多智子	第1講義室

年度 2019 学期 3Q	曜日・校時 月・Ⅲ		必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084521			
科目ナンバリング・コード	DNGD33201992			
授業科目名/(英語名)	外科学各論(外科学 1)/(Surgery detailed explanations, Surgical Oncology)			
対象年次 3 年次	講義形態	講義形式	教室	第 1 講義室
対象学生(クラス等)	歯学部	科目分類	関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 日高重和/hidaka-s@nagasaki-u.ac.jp/病院 11 階腫瘍外科医局/095-819-7304(内 7304)/17:00～18:00				
担当教員(オムニバス科目等)	安武 亨、三浦 崇、土肥良一郎、渡邊洋之助、矢野 洋、田浦康明			
授業の概要				
外科各論としての食道外科、心臓外科、血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科について、その基本的な事項を学ぶ。				
授業到達目標		【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
一般目標 GIO:				
外科学の各分野の基本事項について理解すること				
個別行動目標 SBOs:				
1. 一般・消化器外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、心臓血管外で扱う主な疾患に対する知識を説明できる。				
2. 各疾患に対する診断方法、および外科的なアプローチの概要を説明できる。		【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識		
授業方法(学習指導法)				
PC プレゼンテーションによる講義が中心となる。また理解を深めるため、必要に応じてプリントの配布も行うこともある。				
授業内容				
1 回目 心臓外科:先天性心疾患・弁疾患・冠動脈疾患に対する外科治療				
2 回目 血管外科:急性および慢性閉塞性動脈疾患と静脈疾患の外科治療				
3 回目 食道外科:食道通過障害・食道狭窄の診断と治療				
4 回目 呼吸器外科(1):肺・胸膜の外科				
5 回目 呼吸器外科(2):縦隔・胸壁の外科				
6 回目 小児外科:先天性疾患ならびに救急治療を要する小児疾患の外科治療				
7 回目 乳腺外科:乳癌の診断と治療				
キーワード	食道外科、心臓外科、血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科			
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書 標準外科学(医学書院) 必要に応じてプリントを配布することあり。			
成績評価の方法・基準等	筆記試験による評価を行う。 再試験は1回行う。 出席率も考慮する。			
受講要件(履修条件)	特になし			
備考(学生へのメッセージ)	臨床診療において知っておくべき外科的な疾患とその治療内容を習得することを目的とします。			
実務経験のある教員による授業科目	・三浦 崇(第1・2回目)／長崎大学病院における診療業務／外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・安武 亨(第 3 回目)／長崎大学病院における診療業務／外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・土肥 良一郎(第4回目)／長崎大学病院における診療業務／外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・渡邊 洋之助(第5回目)／長崎大学病院における診療業務／外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・田浦 康明(第6回目)／長崎大学病院における診療業務／外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・矢野 洋(第 7 回目)／長崎大学病院における診療業務／外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	9	30	月	Ⅲ	心臓外科 先天性心疾患・弁疾患・冠動脈疾患に対する外科治療	三浦 崇	第1講義室
2回	10	7	月	Ⅲ	血管外科 急性および慢性閉塞性動脈疾患と静脈疾患の外科治療	三浦 崇	第1講義室
3回	10	21	月	Ⅲ	食道外科 食道通過障害・食道狭窄の診断と治療	安武 亨	第1講義室
4回	10	28	月	Ⅲ	呼吸器外科 肺・胸膜の外科	土肥良一郎	第1講義室
5回	11	11	月	Ⅲ	呼吸器外科 縦隔・胸壁の外科	渡邊洋之助	第1講義室
6回	11	18	月	Ⅲ	小児外科 先天性疾患ならびに救急治療を要する小児疾患の外科治療	田浦康明	第1講義室
7回	11	25	月	Ⅲ	乳腺外科 乳癌の診断と治療	矢野 洋	第1講義室

年度 2019 学期 4Q	曜日・校時 月・Ⅲ	必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084522		
科目ナンバリング・コード	DNGD33201992		
授業科目名/(英語名)	外科学各論(外科学 2)/(Surgery detailed explanations, Gastrointestinal Surgery)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 第 1 講義室	
対象学生(クラス等)	歯学部	科目分類 関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 江口 晋/ sueguchi@nagasaki-u.ac.jp/病院移植・消化器外科医局/095-819-7316(内 7316)/17:00～18:00			
担当教員(オムニバス科目等)	日高匡章、足立智彦、久芳さやか、大野慎一郎、井上悠介、米田 晃、丸屋安広		
授業の概要			
外科治療の対象となる代表的な消化器疾患について講義する。			
授業到達目標 一般目標 GIO: 外科治療の対象となる代表的な消化器疾患を学習し、臨床歯科医として診療行為を行ううえで必要となる一般的知識を習得する。臨床歯科医として診療行為を行ううえで必要となる代表的な消化器系外科的疾患について、基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深める。消化器悪性腫瘍、特に食道、胃、大腸などの管腔臓器、ならびに肝臓、胆道、膵臓、甲状腺などの実質臓器に発生する腫瘍の病態を理解し、その診断・治療過程を学ぶ。 個別行動目標 SBOs: 1) 消化器系悪性腫瘍、特に胃癌、大腸癌、肝癌、胆道癌、膵癌の診断と治療について理解し、説明できる。 2) 臨床的に頻度の高い疾患である胆石症、消化性潰瘍、良性食道疾患の診断と治療について理解し、説明できる。		【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 <	

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	12	2	月	Ⅲ	胆嚢・胆道疾患： 胆石と胆道癌の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	大野慎一郎	第1講義室
2回	12	9	月	Ⅲ	膵疾患： 膵炎と膵癌の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	足立智彦	第1講義室
3回	12	16	月	Ⅲ	食道疾患： 食道疾患、特に食道癌の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	丸屋安広	第1講義室
4回	12	23	月	Ⅲ	胃疾患： 胃疾患、特に胃癌の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	米田 晃	第1講義室
5回	1	6	月	Ⅲ	大腸・小腸疾患： 大腸癌および小腸疾患の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	井上悠介	第1講義室
6回	1	20	月	Ⅲ	肝疾患： 肝臓や肝移植の適応となる疾患の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	日高匡章	第1講義室
7回	1	27	月	Ⅲ	甲状腺疾患： 外科治療の対象となる甲状腺疾患の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	久芳さやか	第1講義室

年度 2019 学期 3Q	曜日・校時 水・I	必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084531		
科目ナンバリング・コード	DNGD33211992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学 I (皮膚科学)/(Relational medicine I, Dermatology)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 第 1 講義室	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 竹中 基/ m-take@nagasaki-u.ac.jp/病院皮膚科医局/095-819-7333(内 7333)/17:00～19:00 ※訪問の際は事前連絡すること。			
担当教員(オムニバス科目等)	竹中 基、鉦塚 大、小池雄太		
授業の概要 歯科医師として必要な皮膚科疾患の知識の習得。			
授業到達目標 一般目標 GIO: 皮膚疾患の本質を理解し、歯科医にとって重要な皮膚粘膜疾患についての知識を深めるために正常皮膚の機能を学習する。さらに発疹記載学、日常遭遇することの多い歯科領域に関連の深い皮膚粘膜疾患を中心に、病因、病態生理、臨床所見、治療法を理解する。 個別行動目標 SBOs: 1) 正常皮膚の構造と機能を理解する。 2) 皮膚粘膜疾患の皮疹、粘膜疹の記載方法を習得する。 3) 歯科領域と関連の深い皮膚粘膜疾患について理解する。		【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識	
授業方法(学習指導法) スライドによる講義。			
授業内容 1 回目 歯科金属アレルギーと皮膚疾患 2 回目 歯科医師が知っておくべき薬物アレルギー 3 回目 日常的によくみる皮膚腫瘍			
キーワード			
教科書・教材・参考書	なし		
成績評価の方法・基準等	筆記試験 再試験 有		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			
実務経験のある教員による授業科目	・小池 雄太(第 1 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な皮膚科疾患について教授する。 ・竹中 基(第 2 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な皮膚科疾患について教授する。 ・鉦塚 大(第 3 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な皮膚科疾患について教授する。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	2	水	I	皮膚病と口腔粘膜 歯科金属アレルギーと皮膚疾患	小池 雄太	第1講義室
2回	10	9	水	I	アレルギー 歯科医師が知っておくべき薬物アレルギー	竹中 基	第1講義室
3回	10	16	水	I	皮膚腫瘍 皮膚科が関わる口腔疾患__特に膠原病、腫瘍、水疱症について	鉾塚 大	第1講義室

年度 2019 学期 4Q	曜日・校時 木・V	必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084532		
科目ナンバリング・コード	DNGD33211992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学 I (眼科学)/(Relational medicine I, Ophthalmology)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 第 1 講義室	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類 関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 限上 武志/ktakeshi@nagasaki-u.ac.jp/病院 10 階眼科医局/095-819-7345(内 7345)/木曜 14:00～18:00			
担当教員(オムニバス科目等)	限上 武志		
授業の概要			
始めに視覚に関係する器官の解剖と生理を解説する。その上で、眼科領域の代表的な疾患を紹介する。			
授業到達目標		【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】	
一般目標 GIO:			
代表的な眼疾患について理解する。眼科救急疾患を理解する。			
個別行動目標 SBOs:			
眼科学の概要を身につける。			
医療従事者として知っておくべき眼科疾患を習得する。		【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識	
授業方法(学習指導法)			
スライドによる講義。			
授業内容			
1 回目 眼球及び視覚伝達路の構造とその機能について修得する。眼科検査法一般について修得する。			
2 回目 眼科領域の感染症。角膜疾患、白内障、緑内障などの前眼部疾患。			
3 回目 糖尿病網膜症、高血圧眼底、循環障害、ぶどう膜炎、網膜剥離などの後眼部・眼底疾患。			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	11	28	木	V	眼球及び視覚伝達路の構造とその機能について修得する。眼科検査法一般について修得する。	隈上武志	第1講義室
2回	12	5	木	V	眼科領域の感染症。角膜疾患、白内障、緑内障などの前眼部疾患。	隈上武志	第1講義室
3回	12	12	木	V	糖尿病網膜症、高血圧眼底、循環障害、ぶどう膜炎、網膜剥離などの後眼部・眼底疾患。	隈上武志	第1講義室

年度 2019 学期 3Q	曜日・校時 水・I	必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084533		
科目ナンバリング・コード	DNGD33211992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学 I (耳鼻咽喉科学)/(Relational medicine I, Otorhinolaryngology)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 第 1 講義室	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類 関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 金子賢一/kkaneko@nagasaki-u.ac.jp/病院耳鼻咽喉科医局/095-819-7349(内 7349)/火曜 19:30			
担当教員(オムニバス科目等)	金子賢一、渡邊毅、北岡杏子		
授業の概要 耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、頸部の解剖および生理、疾患に対する理解を深め、将来の歯科医師・薬剤師になどの医療従事者として着任した際に役に立つ基礎としての医学知識を構築することを目標とする。			
授業到達目標 一般目標 GIO: 耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、頸部の解剖および生理、疾患に対する理解を深め、将来の歯科医師・薬剤師になどの医療従事者として着任した際に役に立つ基礎としての医学知識を構築することを目標とする。 個別行動目標 SBOs: 1. 耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、頸部の解剖についてひととおり説明することができる。 2. 耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、頸部の生理についてひととおり説明することができる。 3. 耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、頸部の疾患について学習し、適切な場で耳鼻咽喉科医に対し適切な症例に関するコンサルテーションを行うことができる。 4. 耳鼻咽喉科の領域について広範囲であるということを認識することができる。 5. 耳鼻咽喉科の内科的側面および外科的側面について講義を通じて掴む事ができる。 6. 耳鼻咽喉科と歯科との連携について、講義を通じて考えることができる。 7. 耳鼻咽喉科と薬剤師との連携について、講義を通じて考えることができる。			
授業方法(学習指導法) 資料はプリントの配布。講義はスライド、ビデオなどを供覧し行う。			
授業内容 1 回目 耳の構造と聞こえのしくみ・疾患 2 回目 頭頸部がんの診断と治療 3 回目 鼻、副鼻腔の構造と疾患			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書 STEP 耳鼻咽喉科学(海馬書房)・新耳鼻咽喉科学(南山堂)・		
成績評価の方法・基準等	授業中の課題に対する積極的な取組状況30点、レポート70点		
受講要件(履修条件)	学務に一任する。		
備考(学生へのメッセージ)			
実務経験のある教員による授業科目	・北岡 杏子(第 1 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な耳・鼻・咽喉等の機能や構造について教授するとともに、代表的な疾患についてその診断と治療を教授する。 ・金子 賢一(第 2 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な耳・鼻・咽喉等の機能や構造について教授するとともに、代表的な疾患についてその診断と治療を教授する。 ・渡邊 毅(第 3 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な耳・鼻・咽喉等の機能や構造について教授するとともに、代表的な疾患についてその診断と治療を教授する。		

【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】

【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	23	水	I	耳の構造ときこえの仕組み・疾患	北岡 杏子	第1講義室
2回	10	30	水	I	頭頸部がんの診断と治療	金子 賢一	第1講義室
3回	11	6	水	I	鼻、副鼻腔の構造と疾患	渡邊 毅	第1講義室

年度 2019 学期 3Q	曜日・校時 水・I	必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084534		
科目ナンバリング・コード	DNGD33211992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学 I (整形外科科学)/(Relational medicine I, Orthopedics)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室	第 1 講義室
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 松林昌平/bayazarov@gmail.com/病院整形外科医局/095-819-7321(内 7321)/16:00～18:00			
担当教員(オムニバス科目等)	富田 雅人、松林 昌平、未定		
授業の概要			
主要整形外科疾患の病態の把握。骨・関節の疾患の病態の把握。			
授業到達目標 【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】			
一般目標 GIO: 運動器疾患の正確な診断と理解を深める。			
個別行動目標 SBOs: 1) 整形外科が扱う疾患を理解する。 2) それぞれの疾患の治療法を理解する。 3) 未来の人口動態より自分たちの置かれている状況を想像する。 【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識			
授業方法(学習指導法)			
スライドまたはプリントを使って行う。			
授業内容			
1 回目 運動器疾患の総論 (富田) 2 回目 上肢の主要な外傷と疾患の解説 (未定) 3 回目 下肢の主要な外傷と疾患の解説 (松林)			
*担当教員は平成 31 年 4 月以降に変更の可能性あり			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書 1. 整形外科サブノート:南江堂 東宏彦他著 2. 標準整形外科学:医学書院 中村利孝他監修		
成績評価の方法・基準等	筆記試験 再試験は1回行う。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	講義の時に配られるプリントを良く勉強して下さい。		
実務経験のある教員による授業科目	・富田 雅人(第 1 回目)／長崎大学病院における診療業務／主要な整形外科疾患の病態や診断について教授する。 ・松林 昌平(第 3 回目)／長崎大学病院における診療業務／主要な整形外科疾患の病態や診断について教授する。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	11	13	水	I	整形外科総論 運動器疾患の総論	富田	第1講義室
2回	11	20	水	I	上肢の障害 上肢の主要な外傷と疾患の解説	未定	第1講義室
3回	11	27	水	I	下肢の障害 下肢の主要な外傷と疾患の解説	松林	第1講義室

年度 2019 学期 4Q	曜日・校時 水・I	必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084535		
科目ナンバリング・コード	DNGD33211992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学 I (形成外科学)/(Relational medicine I, Plastic and Reconstructive Surgery)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 第 1 講義室	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 田中克己/ katsumit@nagasaki-u.ac.jp /病院形成外科医局/095-819-7327(内 7327)/17:00～19:00			
担当教員(オムニバス科目等)	田中克己、吉本 浩		
授業の概要			
身体外表の異常を機能的・形態的に再建し、患者の社会復帰を促すという形成外科治療についての理解を深めさせる。第1回目では形成外科概論、創傷治癒と再生医療、皮膚形成術について講義する。第2回目では形態と機能との関わり、医療材料、組織移植の基礎と応用について講義を行う。			
授業到達目標			
一般目標 GIO: 形態異常のハンディキャップとしての特殊性をよく理解し、どのようなものが形態異常の原因となりうるのかを理解する。また、創傷治癒と再生医療の基礎と形成外科における臨床への応用、また、組織移植術に対する基礎的知識の理解とその応用、医療材料の特徴と問題点などについて深い知識の習得を目的とする。 個別行動目標 SBOs: 1) 形成外科学の概念を理解し、各自の専門分野に繋げる。 2) 形成外科の対象疾患と治療法を理解する。			
【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識			
授業方法(学習指導法)			
レジュメを配布し、パワーポイントを用いた講義を行う。			
授業内容			
1 回目 形成外科概論、創傷治癒と再生医療、皮膚形成術 2 回目 形態と機能との関わり、医療材料、組織移植の基礎と応用			
キーワード			
教科書・教材・参考書			
標準形成外科学 第 6 版:平林慎一・鈴木茂彦 編集、医学書院 TEXT 形成外科学 第 3 版:波利井清紀 監修、南山堂			
成績評価の方法・基準等			
出席率及びレポートによる評価を行う。60 点以上を合格とする。			
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			
実務経験のある教員による授業科目			
・吉本 浩(第 1 回目)／長崎大学病院における診療業務／形態と機能との関わり、医療材料、組織移植の基礎と応用について教授する。 ・田中 克己(第 2 回目)／長崎大学病院における診療業務／形成外科概論、創傷治癒と再生医療、皮膚形成術について教授する。			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	12	4	水	I	形成外科概論、創傷治癒と再生医療、皮膚形成術	吉本	第1講義室
2回	12	11	水	I	形態と機能との関わり、医療材料、組織移植の基礎と応用	田中	第1講義室

年度 2019 学期 3Q	曜日・校時 月・Ⅳ		必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084541			
科目ナンバリング・コード	DNGD33221992			
授業科目名/(英語名)	隣接医学Ⅱ(小児科学)/(Relational medicine Ⅱ, Pediatrics)			
対象年次 3年次	講義形態	講義形式	教室	第1講義室
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部		科目分類	関連臨床医学
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 伊達木澄人/ sdateki1@nagasaki-u.ac.jp /病院小児科医局/095-819-7398(内 7398)/				
担当教員(オムニバス科目等)	伊達木澄人(だてき すみと)、小形 勉(おがた つとむ)、西口奈菜子(にしぐち ななこ)			
授業の概要				
小児は身体が単に小さいだけでなく、様々な生理的な特徴を持っています。その小児の特殊性について理解できるようにします。また、小児の救急についての基本的な知識を身につけ、状態の把握とその対処ができるようになることを目標とします。こどもと接する機会は必ずあるのでこどもの特性は理解できるようにすることを目標とします。				
授業到達目標				
一般目標 GIO:		【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
小児の特殊性について理解できるようにします。また、小児の救急についての基本的な知識を身につけ、状態の把握とその対処ができるようになることを目標とします。こどもと接する機会は必ずあるのでこどもの特性は理解できるようにすることを目標とします。				
個別行動目標 SBOs:				
小児の特徴がわかり、救急処置について理解する。		【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識		
小児の成長のメカニズムと成長障害について理解できる。				
小児によく診られる感染症、染色体異常(ダウン症など)などの疾患について理解できる。				
授業方法(学習指導法)				
プリントとPC プロジェクターを用いて解説を行う。				
授業内容				
1 回目 小児の身体的特徴を理解する。呼吸、循環の特徴と小児の救急処置について理解する。				
2 回目 小児の成長と発達、肥満症について理解する。				
3 回目 小児の疾患とくに、感染症、染色体異常症について理解する。				
キーワード	小児の特徴、救急処置、成長、肥満、ダウン症、感染症			
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書 標準小児科学(医学書院)			
成績評価の方法・基準等	3回の講義について筆記試験もしくはレポートで評価する。再試験は1回のみ行う。 出席率、追試験、は学部規則に沿って行う。 再試験は1回のみ行う。			
受講要件(履修条件)				
備考(学生へのメッセージ)	小児を診るうえで重要な項目であるので復習をしっかりとすることが望ましい。			
実務経験のある教員による授業科目	・西口 奈菜子(第1回目)／長崎大学病院における診療業務／小児疾患(感染症、染色体異常症)について教授する。 ・小形 勉(第2回目)／長崎大学病院における診療業務／小児の成育と発達、肥満症について教授する。 ・伊達木 澄人(第3回目)／長崎大学病院における診療業務／小児の身体的特徴、救命処置について教授する。			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	9	30	月	Ⅳ	こどもの特徴・小児救急 小児の身体的特徴を理解し、小児の循環、呼吸について確認する。こどもの救急処置について学ぶ。	西口 奈菜子	第1講義室
2回	10	7	月	Ⅳ	こどもの成長、発達 こどもの新生児からの成長と発達について理解を深める。	小形 勉	第1講義室
3回	10	21	月	Ⅳ	こどもの疾患 こどもの疾患について理解を深める。とくによく診る感染症、染色体異常症について学ぶ。	伊達木澄人	第1講義室

年度 2019 学期 3Q	曜日・校時 月・Ⅳ		必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084542			
科目ナンバリング・コード	DNGD33221992			
授業科目名/(英語名)	隣接医学Ⅱ(産科婦人科学)/(Relational medicine Ⅱ, Obstetrics and Gynecology)			
対象年次 3年次	講義形態	講義形式	教室	第1講義室
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部		科目分類	関連臨床医学
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 三浦清徳/kiyonori@nagasaki-u.ac.jp/病院産婦人科医局/095-819-7363(内 7363)/平日 9:00～17:00				
担当教員(オムニバス科目等)	大橋和明、福島愛、村上直子、北島百合子			
授業の概要 産科婦人科学は、生殖医学、周産期医学、婦人科腫瘍学および女性医学の4領域に大別される。本科目では、それぞれの領域における「基本的知識」の学習に主眼をおく。 ○生殖医学 受精と着床に関する基本的知識を修得し、不妊治療を含む生殖補助医療の最新の話も含めて学習する。 ○周産期医学 妊娠・分娩のプロセスを理解し、その異常について学習する。 ○婦人科腫瘍医学 女性性器の発生に関する基本的知識を修得し、各腫瘍における疫学、組織像について最近の話題を含めて学習する。 ○女性医学 女性のライフステージの中で起こりうる疾患を理解し、健康管理に必要な知識(予防医学)を学習する。				
授業到達目標 一般目標 GIO: 生殖医学、周産期医学、婦人科腫瘍医学、および女性医学についての基本的知識を修得する。 個別行動目標 SBOs: 1) 女性生殖器の解剖ならびに生理を理解する 2) 性周期、卵子の発育から妊娠の成立過程を理解する 3) 妊娠経過、正常分娩とその異常について理解する 4) 婦人科疾患、特に婦人科腫瘍について理解する 5) 女性のライフステージとヘルスケアについて理解する			【平成28年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識	
授業方法(学習指導法) 講義形式で行う。スライドを中心に講義し、適宜プリントの配布等を行う。				
授業内容 1回目 生殖医学 受精、着床のプロセスとその異常 2回目 周産期医学 妊娠から分娩までのプロセスとその異常 3回目 婦人科腫瘍医学 女性性器の発生学とその異常(良性腫瘍、悪性腫瘍) 4回目 女性医学 女性のライフステージとヘルスケア				
キーワード	受精、着床、不妊症、妊娠、分娩、胎児、腫瘍、病理像、女性のヘルスケア			
教科書・教材・参考書	特に指定しない。			
成績評価の方法・基準等	筆記試験を実施する。 100点満点で60点未満を不合格とする。 再試験は1回のみ行う。			
受講要件(履修条件)	特になし。			
備考(学生へのメッセージ)	生命の誕生からその終焉までを診る学問である。生殖や妊娠には倫理的問題が関わる場合も少なくない。新聞などのニュースでこれらの問題について触れ、そのことについて自分なりに考えることが重要である。			
実務経験のある教員による授業科目	・村上 直子(第1回目)／長崎大学病院における診療業務／婦人科腫瘍医学に関する基本的知識を教授する。 ・福島 愛(第2回目)／長崎大学病院における診療業務／生殖医学・周産期医学に関する基本的知識を教授する。 ・大橋 和明(第3回目)／長崎大学病院における診療業務／生殖医学・周産期医学に関する基本的知識を教授する。 ・北島 百合子(第4回目)／長崎大学病院における診療業務／婦人科腫瘍医学に関する基本的知識を教授する。			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	28	月	IV	生殖医学 受精、着床のプロセスとその異常	村上直子	第1講義室
2回	11	11	月	IV	周産期医学 妊娠から分娩までのプロセスとその異常	福島愛	第1講義室
3回	11	18	月	IV	婦人科腫瘍学 女性性器の発生とその異常(良性腫瘍、悪性腫瘍)	大橋和明	第1講義室
4回	11	25	月	IV	女性医学 女性のライフステージとヘルスケア	北島百合子	第1講義室

年度 2019 学期 3Q	曜日・校時 木・ I		必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084543			
科目ナンバリング・コード	DNGD33221992			
授業科目名/(英語名)	隣接医学Ⅱ (泌尿器科学)/(Relational medicine Ⅱ, Urology)			
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 第 1 講義室		
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 宮田康好/yasu-myt@nagasaki-u.ac.jp/病院泌尿器科医局/095-819－7340(内 7340)/17:00～18:00				
担当教員(オムニバス科目等)	宮田康好、大庭康司郎、木原敏春			
授業の概要及び位置づけ				
腎・尿路系疾患の病態、診断および治療を理解し、泌尿器科学の概要を把握する。まず、1 回目は総論として腎・泌尿器の解剖と機能および症候と検査法について講義する。2回目は泌尿器科で特に主要な疾患である泌尿器腫瘍の診断と治療について講義する。3回目はその他の疾患として、頻度の高いものを講義する。これらを通じて、泌尿器科診療の概要と実際に学び、最終的に泌尿器科学の重要性を理解し、説明できるようになることをめざす。				
授業到達目標				
一般目標 GIO:		【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
腎・尿路系疾患の病態、診断および治療を理解し、泌尿器科学の概要を把握する。				
個別行動目標 SBOs:				
1.腎・泌尿器の構造と機能を理解し、異常所見を識別できる。				
2.腎・泌尿器系疾患の主要症候を理解し、鑑別疾患を挙げることができる。 【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識				
3.腎・泌尿器系の検査法を理解し、診断へ応用できる。				
4.主要疾患の治療法を概説できる。				
授業方法(学習指導法)				
スライドとプリントを使った講義。				
授業内容				
1 回目 泌尿器科学総論(腎・尿路・男性生殖器の解剖と機能、おもな症候と検査法) ・泌尿器科領域で扱う臓器の構造と機能を説明できるようになる				
2 回目 泌尿器腫瘍の診断および治療 ・特に重要である腎癌、尿路上皮癌、前立腺癌については治療までのフローが説明できるようになる				
3 回目 腫瘍以外の主な泌尿器科疾患(尿路感染症、尿路結石、排尿機能障害など) ・増加傾向にあるこれらの疾患の予防も含めたマネージメントについて説明できるようになる。				
キーワード	泌尿器科学、泌尿器科腫瘍、腎・尿路			
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書 1. 講義録 泌尿器科学(メジカルビュー社) 2. 標準泌尿器科学(医学書院)			
成績評価の方法・基準等	レポートによる評価を行う。60 点以上を合格とする。 評価で不可の場合は再度のレポート提出または口頭試問とする。			
受講要件(履修条件)				
備考(学生へのメッセージ)	できるだけ歯学や薬学の領域でも役に立つ講義内容にします。			
	・木原 敏春(第 1 回目)／長崎大学病院における診療業務／泌尿器疾患の病態、診断及び治療について教授する。 ・大庭 康司郎(第 2 回目)／長崎大学病院における診療業務／泌尿器疾患の病態、診断及び治療について教授する。 ・宮田 康好(第 3 回目)／長崎大学病院における診療業務／泌尿器疾患の病態、診断及び治療について教授する。			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	11	28	木	I	泌尿器科学総論(腎・尿路・男性生殖器の解剖と機能、おもな症候と検査法) ・泌尿器科領域で扱う臓器の構造と機能を説明できるようになる	木原敏晴	第1講義室
2回	12	5	木	I	泌尿器腫瘍の診断および治療 ・特に重要である腎癌、尿路上皮癌、前立腺癌については治療までのフローが説明できるようになる	大庭康司郎	第1講義室
3回	12	12	木	I	腫瘍以外の主な泌尿器科疾患(尿路感染症、尿路結石、排尿機能障害など) ・増加傾向にあるこれらの疾患の予防も含めたマネジメントについて説明できるようになる。	宮田康好	第1講義室

年度 2019 学期 4Q	曜日・校時 日程表を参照		必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084544			
科目ナンバリング・コード	DNGD33221992			
授業科目名/(英語名)	隣接医学Ⅱ(精神神経科学)/(Relational medicine Ⅱ, Neuropsychiatry)			
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 第 1 講義室		
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小澤寛樹/ozawa07@nagasaki-u.ac.jp/大学病院 12 階精神神経科教授室/095-819-7293(内 7293)/水曜 12:00～13:00				
担当教員(オムニバス科目等)	小澤寛樹、今村 明			
授業の概要				
プライマリケアでも重要で歯科領域において認められやすい精神と行動の障害に関する症候、病態生理、成因とそれに対応する治療とケアについて学ぶ。(不安、うつ、統合失調症、認知症、小児・思春期における精神障害など)				
授業到達目標				
一般目標 GIO: 歯科領域にとって必要な精神科疾患の概要を紹介し、疾患及び罹患した患者への理解を深める。 個別行動目標 SBOs: 1) 精神現象の複雑さを知り、患者との十分な心のふれあいの大事さを理解する。 2) プライマリケアにおける精神医学的症状の把握に必要な情報を知り、精神障害への理解を深め、偏見・差別の軽減に努める。				
授業方法(学習指導法)				
スライドや VTR などを利用しながら講義を行うが、受講学生の授業への積極的参加を期待して討論を行う。				
授業内容				
1 回目 「子どもに見られる精神障害」 小児・思春期における精神障害を中心に、症候や診断、治療について解説する 2 回目 「プライマリケアで見られる精神障害と精神医学的症状」 メンタルヘルス概論、ストレス・不安・抑うつなどの症候に関する概説 統合失調症、うつ病、身体表現性障害などプライマリケアで認められる精神障害の症候、診断と治療				
キーワード				
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書 1. ICD-10「精神・行動の障害」マニュアル(中根充文、岡崎祐士著、医学書院、1994) 2. 標準精神医学(野村総一郎、樋口輝彦著、医学書院)			
成績評価の方法・基準等	出席とレポートにより評価する。 再試験:無			
受講要件(履修条件)				
備考(学生へのメッセージ)	具体的な症例を挙げながら、精神科と歯科、薬科がどのように結びついてくるのか考察を深めていきます。			
実務経験のある教員による授業科目	・今村 明(第 1 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科領域に必要な精神科疾患の概要を教授する。 ・小澤 寛樹(第 2 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科領域に必要な精神科疾患の概要を教授する。			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	12	18	水	I	「子どもに見られる精神障害」 小児・思春期における精神障害を中心に症候や診断、治療について解説する	今村 明	第1講義室
2回	12	19	木	I	「プライマリケアで見られる精神障害と精神医学的症状」 メンタルヘルス概論、ストレス・不安・抑うつなどの症候に関する概説 統合失調症、うつ病、身体表現性障害などプライマリケアで認められる精神障害の症候、診断と治療	小澤寛樹	第1講義室

年度 2019 学期 3Q	曜日・校時 水・V		必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25084545			
科目ナンバリング・コード	DNGD33221992			
授業科目名/(英語名)	隣接医学Ⅱ(脳神経外科学)/(Relational medicine Ⅱ, Neurosurgery)			
対象年次 3 年次	講義形態	講義形式	教室	第 1 講義室
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 松尾 孝之/takayuki@nagasaki-u.ac.jp/病院 10 階脳神経外科医局 095-819-7375(内線 7375)/17:30～18:30				
担当教員(オムニバス科目等)	吉田光一、氏福健太			
授業の概要				
歯科診療に関連が深いと考えられる脳神経外科疾患に関して概説し、歯科、口腔外科領域に隣接する頭頸部の外傷、脳卒中、腫瘍、疼痛性疾患の病態、診断、治療法を学び、鑑別診断ができる能力を養う。				
授業到達目標 平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム				
一般目標 GIO: 頭部外傷、脳卒中などの脳神経外科的救急疾患についての基本的知識を得る。				
個別行動目標 SBOs: 1)頭頸部の腫瘍につき理解する。【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識 2)三叉神経痛に対する脳外科治療について理解する。				
授業方法(学習指導法)				
主として PC プレゼンテーションにて行う。				
授業内容				
1 回目 頭部外傷、脳卒中など脳神経救急疾患について概説する。 2 回目 三叉神経痛に対する脳外科治療について概説する。				
キーワード				
教科書・教材・参考書	なし			
成績評価の方法・基準等	出席率、レポート等により行う。			
受講要件(履修条件)				
備考(学生へのメッセージ)	急患等の対応のため、講義担当者が変更になることがある。			
実務経験のある教員による授業科目	・吉田 光一(第 1 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科領域に関連が深いと考えられる脳神経外科疾患について病態、診断、治療法を教授する。 ・氏福 健太(第 2 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科領域に関連が深いと考えられる脳神経外科疾患について病態、診断、治療法を教授する。			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	12	11	水	V	頭部外傷 頭部外傷、脳卒中など脳神経外科救急疾患について概要する。	吉田光一	第1講義室
2回	12	18	水	V	三叉神経痛 三叉神経痛に対する脳神経外科治療について概説する。	氏福健太	第1講義室

年度 2019 学期 3Q	曜日・校時 木・I	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25084551		
科目ナンバリング・コード	DNGD33231992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学Ⅲ(人類遺伝学)/(Relational medicine Ⅲ, Human Genetics)		
対象年次 3年次	講義形態 講義形式	教室 第1講義室	
対象学生(クラス等)	歯学部	科目分類 関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 稲嶺 達夫 / inaminet@nagasaki-u.ac.jp / 薬学部薬物治療学 / 095-819-8575 / 月～金 9:00-17:00 (要アポイントメント)			
担当教員(オムニバス科目等)	稲嶺 達夫,吉浦 孝一郎		
授業の概要			
歯科医師および生物系研究者に必要な遺伝学の基本的知識と概念の修得をめざす。 (分子)遺伝学は、メンデルにより導入された抽象的な概念としての遺伝子(メンデルのいう要素)に、その具体的物質的基盤である分子の正体(DNA など)が判明することにより爆発的に発展した。遺伝学は、遺伝情報の違いや変化(多様性、変異、進化)、遺伝情報の伝え方(伝達、形式)、遺伝情報の働き方(現象)などを扱うが、これはまさに生命現象の基本であるため、遺伝学の素養を身につけることは生物学やその応用としての医学や歯学を学ぶためには必須となろう。ゲノム、遺伝子の構造から遺伝の仕組み、遺伝形式、遺伝子変異と疾患、多因子疾患の特徴およびゲノム医学について学ぶ。			
授業到達目標		【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】	
一般目標 GIO:		【C-2-2】遺伝子と遺伝	
歯科医師および生物系研究者に必要な遺伝学の基本的知識と概念の修得をめざす。		【C-5-1】病因論と先天異常	
個別行動目標 SBOs:			
1.遺伝子の概念やゲノムの概念について理解し、説明できる。			
2.遺伝学がどのような学問であるのかについて理解し、説明できる。			
3.遺伝学的疾患分類について理解し、説明できる。			
4.遺伝子の構造と遺伝子発現システムについて説明できる。			
5.遺伝の原理について説明できる。			
6.遺伝子変異や多型についての概略やそれらを説明できる。			
7.多因子疾患について概略を説明できる。			
8.ミトコンドリア遺伝やエピジェネティクスについて理解し、説明できる。			
9.薬剤応答性遺伝子多型と薬物血中濃度や治療効果との関連について概略を説明できる。			
10.遺伝子診断や個別化医療について概略を説明できる。			
授業方法(学習指導法)			
教科書は指定せず、授業計画に沿った説明やプリント、スライドで授業を進める。			
授業内容			
1 回目 分子遺伝学の基礎, メンデル遺伝の基礎			
2 回目 メンデル遺伝病			
3 回目 染色体異常, ミトコンドリア病, エピジェネティクスとその異常			
4 回目 遺伝性疾患の分子病理			
5 回目 集団遺伝学の基礎			
6 回目 多因子疾患			
7 回目 薬理遺伝と個別化医療			
キーワード	ゲノム, ミトコンドリア, 遺伝形式, 遺伝子変異, 多因子疾患, 多様性, 遺伝子診断		
教科書・教材・参考書	教科書の指定はない。但し, 参考書に以下を推薦する。 遺伝医学への招待 (改訂第5版, 南江堂)		
成績評価の方法・基準等	筆記試験で評価する。点数が 60 点以上を合格とする。再試(1回)あり。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	基本的知識は必要だが、その背景にある論理を理解してほしい。 授業で説明した内容は、その都度復習しておくこと。 高校生物未履修者は、該当分野を自習しておくこと。 授業の進行具合に応じては、授業内容が変更されることもあるが、その都度指示する。		
実務経験のある教員による授業科目	吉浦 孝一郎／病院での診療経験／診療経験を活かし、遺伝学に関する講義を実施する。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	3	木	I	分子遺伝学の基礎, メンデル遺伝の基礎	稲嶺	第1講義室
2回	10	10	木	I	メンデル遺伝病	稲嶺	第1講義室
3回	10	17	木	I	染色体異常, ミトコンドリア病, エピジェネティクスとその異常	稲嶺	第1講義室
4回	10	24	木	I	遺伝性疾患の分子病理	吉浦	第1講義室
5回	10	31	木	I	集団遺伝学の基礎	吉浦	第1講義室
6回	11	7	木	I	多因子疾患	吉浦	第1講義室
7回	11	14	木	I	薬理遺伝と個別化医療	吉浦	第1講義室

